

**製品名: ADAMTS-17 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06598**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ADAMTS17
別名	ADAMTS17; A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 17; ADAM-TS 17; ADAM-TS17; ADAMTS-17
遺伝子 ID	170691.0
SwissProt ID	Q8TE56
免疫原	ADAMTS-17 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 150-230

**背景**

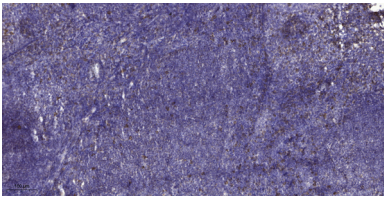
この遺伝子は、ADAMTS（トロンボスポンジンモチーフを有するディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼ）タンパク質ファミ

リーのメンバーをコードします。ADAMTS ファミリーのメンバーは、プロペプチド領域、メタロプロテアーゼドメイン、ディスインテグリン様ドメイン、およびトロンボスポンジン 1 型 (TS) モチーフなど、複数の異なるタンパク質モジュールを共有しています。このファミリーの各メンバーは C 末端 TS モチーフの数が異なり、中には独自の C 末端ドメインを持つものもあります。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟タンパク質に変換され、乳がん細胞の増殖と生存を促進する可能性があります。この遺伝子の変異は、水晶体近視、水晶体偏位、緑内障、球状水晶体症、および低身長を特徴とするワイル・マルケザーニ様症候群と関連しています。 [RefSeq 提供、2016 年 5 月],ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出に伴い、亜鉛イオンからシステインが解離することで酵素が活性化される。、PTM: 前駆体はフォーリンエンドペプチダーゼによって切断される。、類似性: ディスインテグリンドメインを 1 つ含む。、類似性: ペプチダーゼ M12B ドメインを 1 つ含む。、類似性: PLAC ドメインを 1 つ含む。、類似性: TSP タイプ 1 ドメインを 5 つ含む。、組織特異性: 胎児肺、成人脳、前立腺、肝臓で発現する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。